
第7回 三朝町議会定例会会議録（第3日）

平成22年9月15日（水曜日）

議事日程

平成22年9月15日 午前10時開議

（質疑のみ）

- 日程第1 議案第67号 平成22年度三朝町一般会計補正予算（第4号）
- 日程第2 議案第68号 平成22年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第3 議案第69号 平成22年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第4 議案第70号 平成22年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第5 議案第71号 平成22年度三朝町財産区特別会計補正予算（第2号）
- 日程第6 議案第72号 平成21年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第7 議案第73号 平成21年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第8 議案第74号 平成21年度三朝町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第9 議案第75号 平成21年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第76号 平成21年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第11 議案第77号 平成21年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第12 議案第78号 平成21年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第13 議案第79号 平成21年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第14 議案第80号 平成21年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第15 議案第81号 平成21年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第16 議案第82号 平成21年度三朝町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第17 議案第83号 平成21年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第18 議案第84号 平成21年度三朝町水道事業決算の認定について
- 日程第19 議案第85号 平成21年度三朝町国民宿舎事業決算の認定について
- 日程第20 議案第86号 三朝町文化財保護条例の一部改正について
- 日程第21 議案第87号 三朝町過疎地域自立促進計画について
- 日程第22 議案第88号 工事請負契約の締結についての議決の一部変更について

(東小学校校舎耐震補強改修工事)

- 日程第23 議案第89号 工事請負契約の締結についての議決の一部変更について
(西小学校校舎耐震補強改修工事)

本日の会議に付した事件

(質疑のみ)

- 日程第1 議案第67号 平成22年度三朝町一般会計補正予算(第4号)
- 日程第2 議案第68号 平成22年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第3 議案第69号 平成22年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第4 議案第70号 平成22年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第5 議案第71号 平成22年度三朝町財産区特別会計補正予算(第2号)
- 日程第6 議案第72号 平成21年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第7 議案第73号 平成21年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第8 議案第74号 平成21年度三朝町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第9 議案第75号 平成21年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第76号 平成21年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第11 議案第77号 平成21年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第12 議案第78号 平成21年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第13 議案第79号 平成21年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第14 議案第80号 平成21年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第15 議案第81号 平成21年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第16 議案第82号 平成21年度三朝町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第17 議案第83号 平成21年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第18 議案第84号 平成21年度三朝町水道事業決算の認定について
- 日程第19 議案第85号 平成21年度三朝町国民宿舎事業決算の認定について
- 日程第20 議案第86号 三朝町文化財保護条例の一部改正について
- 日程第21 議案第87号 三朝町過疎地域自立促進計画について
- 日程第22 議案第88号 工事請負契約の締結についての議決の一部変更について
(東小学校校舎耐震補強改修工事)

日程第23 議案第89号 工事請負契約の締結についての議決の一部変更について
(西小学校校舎耐震補強改修工事)

出席議員（12名）

1番 清水 成 眞	2番 藤 井 克 孝
3番 吉 田 文 夫	4番 福 田 茂 樹
5番 遠 藤 勝太郎	6番 平 井 満 博
7番 松 村 修	8番 横 木 文 雄
9番 知久馬 二三子	10番 山 田 道 治
11番 杉 原 憲 靖	12番 牧 田 武 文

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 ————— 遠 藤 英 臣 主幹 ————— 山 中 恵 子

説明のため出席した者の職氏名

町長 —————	吉 田 秀 光	副町長 —————	森 脇 光 洋
会計管理者 —————	松 原 茂 隆	総務課長 —————	朝 倉 聡
財務課長 —————	大 村 哲 也	税務課長 —————	石 井 秀 己
町民課長 —————	山 根 智 美	農林課長 —————	山 根 猛 昭
農業委員会事務局長 ———	田 栗 幸 人	企画観光課長 —————	松 浦 弘 幸
健康福祉課長 —————	前 田 敦 子	建設水道課長 —————	岩 山 靖 尚
総務課参事 —————	平 井 文 彦	教育委員会委員長 ———	山 本 邦 彦
教育長 —————	山 口 博	教育総務課長 —————	布 廣 覚
生涯学習課長 —————	真 嶋 峰 和	農業委員会会長 —————	安 藤 雅 啓
代表監査委員 —————	和 泉 澤 吉	国民宿舎事業管理者 ———	知久馬 孝 紀

午前9時58分開議

○議長（牧田 武文君） おはようございます。ただいまの出席議員は12名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日、届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。以上、報告します。

日程第1 議案第67号 から 日程第23 議案第89号

○議長（牧田 武文君） お諮りいたします。本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりですが、議事の進行上、この際、日程を変更して、日程第1から日程第23までの23件の議案を一括議題といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第1から日程第23まで、すなわち議案第67号から議案第89号までの23件の議案を一括議題といたしたいと思っております。

これより質疑に入ります。質疑は、議事の進行上、1件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第67号、平成22年度三朝町一般会計補正予算（第4号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第68号、平成22年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、議案第69号、平成22年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について、質疑はありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第70号、平成22年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第71号、平成22年度三朝町財産区特別会計補正予算（第2号）について、質疑はありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第72号、平成21年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について、まず、事項別明細書の歳入について、11ページから44ページまでの質疑ありませんか。

福田議員。

○議員（4番 福田 茂樹君） 40ページ、公衆電話がそれぞれ利用料金が入っております。例えば、高勢地区20円、それから190円とか、いろいろ、小鹿なんかでも20円。これ年間の使用料。前年も調べてみましたが、ほとんど変わりはないというふうに認識をしています。もう公衆電話の役目は終わったのではないかと私は認識しますが、いかがでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○議員（4番 福田 茂樹君） 全部とは言いませんよ、部分的に。

○総務課長（朝倉 聡君） 議員御指摘のように公衆電話の使用というのは極端に減ってきております。ただ、子供たちというか、そういうふうな部分が若干必要な可能性がございますので、各それぞれここに書いてありますように、各地域協議会の方に判断を任せておまして、小鹿地区につきましては既に撤去しておりますし、それから御指摘の分で竹田地区についても、この間、撤去の手続をしておるといってございまして、段階的にはありますけれども、公衆電話撤去というふうなことに進んでおるところでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 福田議員。

○議員（4番 福田 茂樹君） もっとスムーズにされたらどうですか。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 御指摘のとおりでございますけれども、ただ、地域の子供たちが使うということもございまして、そのあたりは各地域協議会に判断を一任しておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 福田議員。

○議員（4番 福田 茂樹君） 地域の子供たちが使うといっても20円ですか、年間。朝倉課長。保育園で190円ですか、年間、何か所あるか知りませんが。そういうの使ったとは言いませんよ。即座に、例えば無料で、じゃあ使うんですかこの公衆電話を。違うでしょ。即座に判断されたらどうですか。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 御指摘の方向で、では各地域協議会にお話をさせていただきたいと
思います。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、進行いたします。

次に、歳出の議会費から総務費まで、45ページから60ページまで、質疑ありませんか。

1番、清水議員。

○議員（1番 清水 成真君） 52ページのバス路線維持補助金でございますが……（発言する
者あり）いや、所管じゃないですよ。バス利用者の減少と書いてありますが、説明資料の方では、
どれぐらい昨年と比べて……（発言する者あり）企画観光課ですよ、これ。

○議長（牧田 武文君） いいですよ、どうぞ質問。

○議員（1番 清水 成真君） いいですね。

○議長（牧田 武文君） いいですよ。

○議員（1番 清水 成真君） 昨年と比べて、どれぐらいの利用者の減少があったのか。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） バスの補助金の算定につきましては、バスの利用者の平均乗車
密度をもとにして補助金を県が算定をすることになっておりまして、町の方では全体のバスの利
用者がどれだけ前年対比で減ったかということの数字は把握できておりません。以上でございま
す。

○議長（牧田 武文君） 清水議員。

○議員（1番 清水 成真君） できるだけやっぱり把握していただいて利用者の増加を図るとい
うのが一つだと思いますし、今後のことも含めてやっぱりバスの維持をどうするのかということ
も含めながら検討していただきたいと思いますが、決算説明資料の決算額と補助金の決算額が違
うんですが、これはどういう意味でしょうか。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） ここの補助金の額には、補助金となっておりますが、一部、町
のバス利用協議会の関係の経費が入っておりますので、その部分が違っておるところでございま
す。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、民生費から衛生費まで、59ページから72ページまでの質疑ありませんか。

山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 66ページの賀茂保育園の運営費7,300万は、これは保育料収入の2,300万が含まれているのかどうかということと、保育料として収入されたものがそっくり移るのか、賀茂保育園に行くのかということをお尋ねしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） 済みません、ちょっと最初の質問がわかりませんでした。もう一度お願いします。

○議員（10番 山田 道治君） 賀茂保育園の7,300万ありますよね。

○町民課長（山根 智美君） はい。

○議員（10番 山田 道治君） それには保育料として収入が多分2,300万ほどあると思うですよ。それも入った数字かどうかということ。

○町民課長（山根 智美君） 保育料は入りません。保育料は保育料で受けます、町に収入しますし、運営費の方は児童の数、児童の年齢別の児童に単価がありますので、そういう運営費、そういう単価をかけたものを運営費として払っておりますので。ちょっと説明が悪いですね。（発言する者あり）

それから、もう一つは何でしたっけ。

○議員（10番 山田 道治君） 2,300万がそのまま入ってるかなと思って、トータルされてその運営費として出しているのかなと思ったんで。

○町民課長（山根 智美君） 保育料は保育料で……。あの、済みません。

○議長（牧田 武文君） そうすると、あの……（発言する者あり）最終日にまた報告してもらえますか。ちょっと質問内容と違いますので、最終日に。

○町民課長（山根 智美君） はい、申しわけありません。

○議長（牧田 武文君） それとも副町長ができちゃ副町長、あんたがしてごしなってもいいけど。（発言する者あり）だれか。

じゃあ、大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 指定管理料で契約した中身で算定して、人数に応じてその月ごとの

委託指定管理料が決まってきます。それに基づいて支払うということになります。議員がおっしゃられた保育料というのは一たん町の収入になりまして、それでそれを財源として指定管理料を払っていくというような形になります。

○議長（牧田 武文君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） ということは、その7,300万の中に間接的に2,300万も入っているということで、じゃないと5,000万の運営費ということになっちゃうような気がするんですけど。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） おっしゃるとおり財源として含まれておるということでございます。

○議長（牧田 武文君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） その、じゃあ2,300万の収入の中には未収金は除かれているということはあれですか、未収金部分も算定して払う。それとも実際入ってきた保育料を委託料として含めるのか、全部の予想される収入として出されるのか、そこだけ。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） あくまでも指定管理料の委託料というのは、人数と、それから維持費等をもとにして指定管理料が払われることになります。ですから、そこに通っておられる、保育料が未収であるとかないとかということには影響のない額を指定管理料として払うことになっております。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

1番、清水議員。

○議員（1番 清水 成真君） 70ページに中部ふるさと連合負担金（火葬場費）でございますが、これまでの経過がもしわかれば、今後の見通し、わかれば教えていただきたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） 済みません、ちょっとお待ちください。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 新聞情報等で御承知のように、現在、広域連合において谷の原石山跡地を候補地として中部広域連合では火葬場をつくるんだということを決定をしたわけですが、先般の広域連合議会において、倉吉市円谷町の土砂採取跡地に場所を変更するという議決をいただいたという段階です。現在、土砂採取を行っている業者は、のり面の修正を含めて、残った土の搬出におよそまだ数カ月要するというところでありますので、本格的に用地等が現状が整って仮契約

等ができるのは、まだ数カ月後になるであろうというふうに予測をいたしております。できるだけ早く連合長は斎場を完成させたいという思いを倉吉の今回の市議会で申し述べておられようです。具体的な環境影響調査を含めて、今後課題としてクリアをしなければならないことというのは相当ございます。それらを乗り切っていきたいということで、行政報告の中で私は三朝町としても全面的に、倉吉の市議会で現在、論議されていると思っておりますが、連合長の思いを応援をして支援をしていきたいという思いでございます。

なお、現状の土地の中に、従前の谷、原石山の跡地で設計をしたその配置の状態が入るかどうかについては入るといふふうに思っておりますので、改めて測量設計等をし直すということは必要ではないか、したがって前に使った経費はそのまま生きるというふうに理解をいたしております。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、農林水産業費から商工費まで、71ページから84ページまで。質疑ありませんか。

杉原議員。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 80ページですが、三朝町観光再生コーディネート事業356万。

説明資料にその内容的には書いてありますが、もう少しこの具体的な取り組み内容について説明を求めたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 観光コーディネート事業につきまして御説明をいたします。三朝温泉観光協会に観光コーディネーターを1名、緊急雇用対策の事業で配置をしております。観光コーディネーターは観光協会にありますが、横断的な観光行政を主に任せておるところでございます。特に観光客誘致、それから新しい商品の発掘に関しましては、協会の会員さん、旅館さんがまとまらなくては成果が発揮しないということで、そういう業務を行っておるところでございます。実績としましては、滞在型保養温泉地づくり、ことしの春からスタートしましたが、現在、湯治を立ち上げるということと、それに対する三朝温泉のおもてなし対策に努めております。そして現在、インバウンド、いわゆる外国人観光客誘致についても精力的に活動しておるところです。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 杉原議員。

○議員（11番 杉原 憲靖君） この事業のそのあれをとやかく、悪いという意味ではありませんけども、やっぱり今の観光行政全体を考えたときには1名ぐらいのコーディネーターといいますか、そういう感覚のあれでは三朝温泉の観光に対する1つの考え方というものは、やっぱり弱いのではないかなと、そんな感じも受けます。特に非常に最近のあれは観光客が横ばいといいますか、本当に再生をしていくという、そういうことからとらまえたときには、もっとやっぱりこう使うべきものは使ってしっかりとした取り組みをやらなければ、観光行政のこれからの推進は厳しいのではないかなと、こんな感じも受けております。ですから、1名の体制がどうのこうのというそのことよりも、むしろやっぱりそのコーディネートを通して例えば関西圏だとか、県の出先機関の関西本部、そういった関西を中心としたそういったこともあるわけですけども、幅広いところに施策の実行といいますか、そういうことのできる果たして人材であるかどうか。私は直接その人は知りませんが、そういうやっぱりしっかりとした人を配置をしていく考え方というのは必要ではないかと思いますが、その点についてもう1回。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 議員の言われるとおりでございます、現在のコーディネーターも民間の観光会社、それから鉄道会社等を勤務した経験がありまして、それを今の業務により役に立てていただいておりますというふうに思いますし、語学の面からも海外のお客様に対する情報発信等もひときわすぐれているというふうに思っております。それから、コーディネーターの人員の件でございますが、そういうことからもう1名、今回の補正予算で増員ということで、12月から4カ月間の予算を提案をさせていただいております。緊急雇用対策を活用して、できれば23年度までそういうことで体制を整えていきたいと思っております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

○議員（11番 杉原 憲靖君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 2点ほど、78ページのナラ枯れ対策の事業ですけども、すごいですよね、ナラ枯れが。幾らか使われて対策をとられておるんですけども、私、1週間ぐらい前に神倉に行く機会がありましてね、もう山じゅうが真っ赤なんですよね。

○議長（牧田 武文君） 山田議員、ちょっとマイクに、もうちょっと。

○議員（10番 山田 道治君） あ、マイクが。

○議長（牧田 武文君） せっかくいいのがあるだけん。

○議員（10番 山田 道治君） 最初から言う。（「ええ」と呼ぶ者あり）

1週間ぐらい前に神倉行く機会ありまして、山を見たらもう真っ赤なんですよね。それでこの対策が本当に有効だったのかどうかと、どういうふうに分除されて、どういう効果があったのかということをお聞きしたいというのを1点と、それともう1個、82ページ、観光植物園のことですけれども、きのう一般質問で町長がちょっとお答えになっていたんですけども、観光植物園に維持管理を委託されていますけれども、本当に中の木が要るのかどうかと。中の植物が要らないのに建物があってということになれば、やっぱり一番もとは中の植物が本当に必要なのかどうか、もうぼちぼち判断されるときが来たんじゃないかなと思いますけれども、その考え方をお聞きしたいと。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長（山根 猛昭君） ナラ枯れ被害木のことについての御質問でございますが、議員もおっしゃられましたとおり、県の東部の方から鳥取市の方からどんどん広がってきたということでございまして、今は小鹿溪または三徳山のあたり、非常にナラ枯れの被害が多うございます。21年度につきましては、331本につきまして薬液の注入をして、ナラ枯れのもとでございましてカシノナガキクイムシの幼虫を出さないような駆除ということではやっておるわけでございますが、林業試験場等々もいろいろ話をしておるところでございますが、全部を根絶するということは現在の技術ではちょっと困難というふうな状況でございまして、カシノナガキクイムシ自体を数を減らすというふうな形の取り組みしか現在できないというふうな状況になっておるところでございます。今年度につきましても予算をいただきまして、また駆除をするようなことも考えておりますが、試験的に三徳山の対岸の方に試験的に、今月の終わりごろになるとは思いますが、ビニールを木に張る、巻くとか、それからナラ枯れは、カシノナガキクイムシが入りまして幼虫を生みましてナラ菌というものを木に蔓延させて、そのナラ菌が水を上げない、水を吸うことを阻害して枯れるという状況でございまして、ナラ菌に対抗する違う菌、例えばシイタケ菌を植えるとか、そういうふうなこともまた試験的にやってみようということで、現在そういう計画をしておるところでございます。決定的にこれで大丈夫というところがないのが現状でございまして、試験をしながらやっているというのが現状でございまして、以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 山田議員。（発言する者あり）もう一つ、もう1点。

松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） パオパブの中の植物の件でございますけど、今年度の予算からパオパブにかかわる経費は一切なしということで、協会の職員が管理をするということにしてお

ります。それで、中の簡易な簡単に枯れてしまってきれいになる植物については整理をさせておるところですけど、高い木とかになると非常に大変なところがありまして、商工会の建設部会さんにもいろいろと見ていただいて、どういうふうにしたらきれいになるかなということで、枯れた部分からは整理をしていきたいと思っております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） ナラ枯れですけど、結局、じゃあ昨年の防除はあんまり効果がなかったということですよ。ビニールをかぶせると言われたけども、試験的に全部の木にかぶせるわけじゃないし、私はあらしが過ぎるのを待つしかないかなというふうに今、思っておる。ちっちゃい木はまだまだ残ってますんで、何かいい成果があったら試してください。

それから2つ目は、大きな木は南の方に適した木なんで、もしよければどこか南の方の植物園に貸すというか、あげてもええかなと思ったり。そうすればあそこがすっきりして、次に何か使うというのがあればもちろん残してもええけども、何も無い、ただ守りするだけというんだったら要らないかなと思っておりますけども、そこももう一度お願いします。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 御提案ありがとうございます。ただ、パオパブの玄関のところから出さなければなりませんので、その辺まあとっかに移植するという事になれば根から掘らないけんということもありますので、その辺は現地をちょっと見て検討させていただきたいと思いますが、多分、切って処分する方法の方が現状としては強いと思います。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、土木費から消防費まで、83ページから90ページまで、質疑ありませんか。

吉田議員。

○議員（3番 吉田 文夫君） 88ページ、消防費の中で、退職金が支払われているんですが、報償金が、これは一体何人に支払われたのか。もう1点、同じく退職の消防団員の掛金が掛けられておりますね。これは700万以上掛けられておりますが、これも人数と、あるいはどこの保険会社か、団体かに掛けられているかを説明いただきたい。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 今の退職関係をまず述べさせていただきます。（「入らない」と

呼ぶ者あり) 入らないですね。

まず、報償金ですね。21年度7名退職されました。消防組織法の規定で5年以上在職ということの方が退職された場合に7名分お支払いしております。それから、掛金のことなんですけども、これは定数366名掛ける1人当たり1万9,200円ということで、702万7,200円、これをお支払いしております。ちなみに、これは基金の方にお支払い、掛金を掛けるんですけども、退職された人が6年間に、16年から21年度まで111名おられまして、報償金の掛金、これが3,920万ほどになります。それで報償金、今度は退職された方に支払った額が4,150万ということでございますので、現在のところは、何ていうんですか、あ、どこに掛けとるか。(「その名前だけ」と呼ぶ者あり) ああ、なるほどな。これは、退職消防団員報償金掛金、基金というか、そういう全国のまとめるところがございます。全国の組織ですね。何っていうんですかね。名称が……(「市町村が加入できる」と呼ぶ者あり) 市町村が管理している。(発言する者あり) はい。全国の市町村の組織でできているものでございます。

○議長(牧田 武文君) よろしいでしょうか、吉田議員。

ほかにございませんか。

福田議員。

○議員(4番 福田 茂樹君) 90ページ、とっとり学力向上支援事業、説明資料を見ますとこれ、土曜学校とか学童保育とか、ああいうる関連の1つなのかなと思うような事業なんですけども。(「ちょっと違うぞ」と呼ぶ者あり) 90ページって言いなっただけん。

○議長(牧田 武文君) 消防費ですよ。

○議員(4番 福田 茂樹君) あ、済みません、後で。

○議長(牧田 武文君) 済みません、申しわけない。90ページまでと言ったけど。次をお願いします。

○議員(4番 福田 茂樹君) わかりました、次に。

○議長(牧田 武文君) ほかに。よろしいでしょうか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長(牧田 武文君) ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、教育費から予備費まで、89ページから104ページまで、質疑ありませんか。

福田議員。

○議員(4番 福田 茂樹君) 先ほどのとっとり学力向上支援事業ですね。学童保育とか土曜学校の関連事業だというふうに見れますけど、全く別もんで立ち上げておられるんですか。単年度

だけですか、これは。

布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） このとっとり学力向上支援事業といいますのは、小学校、中学校を対象としております。それで、子供たちの学力向上を図るために、家庭学習とか……（「それは書いてあります」と呼ぶ者あり）とか、そういったようなことで先生が応援してもらっております。家ではパソコンを使ったりということで、自分で勉強を工夫しながら家庭学習として取り組んでおります。以上です。

○議長（牧田 武文君） 福田議員。

○議員（４番 福田 茂樹君） ということは、これは先生がやられた事業ということで理解すればいいですね。

○議長（牧田 武文君） 布廣課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） そうです。

○議員（４番 福田 茂樹君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

○議員（４番 福田 茂樹君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

平井議員。

○議員（６番 平井 満博君） 決算の９２ページ、教育振興費の中の小学校準要保護児童援助費ですか、当初予算が７４万２，０００、決算が１４６万４，５６０円という金額が上がってますけども、この説明資料で１４３ページ、学用品２１名とか新入児童用品７名とか給食費２１名、いろいろありますけども、この基準というか、どういう形の中で基準が決まっているのか、対象になる児童の基準というもんを御明確にお願いしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 小学校の準要保護児童の援助費でございますが、基準は教育委員会の中で審議をします。その以前に民生委員の方からの御意見を伺いながら、そして収入の状況も確認しながら、そういったことで総合的に判断して教育委員会の中で決定をしております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 平井議員。

○議員（６番 平井 満博君） 当初予算では１０名という形で予算化してあったと思うんですけども、決算では２１名という、こういう状況が生まれたということは、払えない人も払わん人も含

めてここの予算の中で準用されておらへんのかなという疑問を抱くもので、ちょっとそこらの辺を状況判断、ふえたという状況を御説明願えればと思います。

○議長（牧田 武文君） 布廣課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 当初は10名を予定をしておりましたが、これは子供たち、そして保護者からの申請に基づきまして実施いたしております。当初の10名が甘かったと言われればそうかもしれませんが、なかなかそういったことで見通しのつけられないところがありますので、実績主義、申請主義ということで21名を補助させていただきました。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 平井議員。

○議員（6番 平井 満博君） 最後、こうやって申請があったから審査して認めるということじゃなしに、やっぱり親の養育義務という部分も含めて保護者にもやっぱりある程度の指導もしていけるべきでないかなと。これがずっとふえていく可能性はこれからもあるということ認識して、この事業の重要性を考えて事業遂行していただければと思っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 答弁要りますか。

○議員（6番 平井 満博君） 要りません。

○議長（牧田 武文君） 福田議員。

○議員（4番 福田 茂樹君） 90ページ、中部子どもの支援センターの運営費、28万5,200円、実態が全然我々のところには見えないというふうに認識してますけども、どういう活動を具体的にやっておられるですか。

○議長（牧田 武文君） 布廣課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） この中部子ども支援センターの運営費につきましては、例えば中学校になかなか諸事情によってよう行かない。不登校の子供たちが現在では、今は上井の方のもと産高の校舎を借りまして、こういった子供たち、中部一円での子供たちが集まって勉強をするというシステムを今、しております。そういったところに本町では去年1名参加しております。そういったことで学校には何らかの理由ではよう行かないしという子供たちが集まって、そこで勉強をしております。そういった事業の内容でございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 福田議員。

○議員（4番 福田 茂樹君） じゃあ、その産高の跡地に行って、この支援センターがそこにあるということでいいですね。さらに、学校に何らかの事情で行けない子供がそこには行けるわけですか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） はい、そうでございます。そのようでございます。なかなか学校には行けないけども、そういった自分と同じような境遇なり、そういった環境で育っている子供たちが集まるところということで、例えば中学校とは違う雰囲気の中での勉強を、それぞれの子供たちに合ったような感じで勉強をしております。

○議長（牧田 武文君） 福田議員。

○議員（4番 福田 茂樹君） 中学校は今、1名ということで、小学校はいないというふうですね、説明では。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） そうです。昨年は1名でございました。そうでございます。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

平井議員。

○議員（6番 平井 満博君） 体育保健総合、総務費か、の中で体育施設一般管理費で、21年度だったですかね、三朝テニスコートのポールを抜いて多目的施設として活用するということがあったんですけども、見ておると全然利用がないということを感じるもので、今後、三朝テニスコートの活用方法というのは検討されておりますか。そこをちょっとお聞きします。

○議長（牧田 武文君） 真嶋生涯学習課長。

○生涯学習課長（真嶋 峰和君） 昨年の多目的スポーツ広場の使用の実績というのが194名、多目的スポーツ広場、旧テニス場なんですけど、それが昨年の使用の実績というのが194名。これにつきましては今、町のペタンク協会……。

○議長（牧田 武文君） ちょっとマイク使ってごさんか、すまんけどな。

○生涯学習課長（真嶋 峰和君） 町のペタンク協会等も使用についてお願いしておるわけなんですけど、どうも落ち段があって非常に使いにくいというようなことで、今の使用がかなり減っておるということで、平井議員言われたように、これからの用途の方法については体育協会、あるいは教育委員会の中で協議して何らかの方法をとりたいと思います。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 平井議員。

○議員（6番 平井 満博君） あれだけの施設を、あそこは利用は190何名あったということなんですけども、実際にはどういう形で利用されたのかというのはわからんですけども、あれだけの施設をやっぱりもうちょっと有効に活用するような仕組みをきちんとしていただきたいと思います。以上です。

○議長（牧田 武文君） 答弁いいですね。

○議員（6番 平井 満博君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかにありませんか。

3番、吉田議員。

○議員（3番 吉田 文夫君） 96ページ、資料は147ページになります。この三徳山自然環境調査事業の中で、「三徳山の植生永遠に」という本がつくられているんですね。それに192万出されてます。この本は一体1冊が幾らで、何冊つくって、今現状は全部完売できたのかと、その点についてお伺いしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） この「三徳山の植生永遠に」という本につきましては、1冊2,000円で販売しております。それで、今、全体では1,500冊印刷しました。印刷された店にお任せする冊数、そして謹呈とか販売をしておるところか、そういったようなところで総数値は1,500冊でございます。役場、教育委員会事務局では、そのうち700冊を担当しております、今現在、大体2割程度が売れておるとい状況でございます。

○議長（牧田 武文君） 吉田議員。

○議員（3番 吉田 文夫君） まだその本が残っておるわけですね。売り切れてないわけですね。今後それはどういう方法で完売するのか、それを完売もできないようなら困るんでね、今後どういう対策していくのか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 現在までのところ、いろんなPRとか周知してきたつもりではございますけども、そういったところで足りない部分あっておるかもしれません。もうちょっとPRをしながら、こういった本がありますよということで完売を目指していきたいと考えておる次第でございます。

○議長（牧田 武文君） 吉田議員。

○議員（3番 吉田 文夫君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） いいですか、よろしいですか。

○議員（3番 吉田 文夫君） いい。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

藤井議員。

○議員（2番 藤井 克孝君） 96ページですけど、旧中津分校の管理費5,055円となって

おりますけど、今の状況を踏まえて、以前民芸品とかもう全部処理されるということを前回述べられておられると思いますけど、どのような状況になっておられるか、確認というか、答弁をお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 今回の御質問は民芸品等のことだったと思いますが、それにつきましては関係者が約100名ぐらいありました。それでいろんな方法で本人の確認をとりながら、町の方で処分させていただくように確認をとっております。その中には数名の方がぜひともそれは私のところに戻してもらいたいというのがありましたので、それは返還しておりますし、三、四人の方について遠方なものですから、ちょっと回答がいただけていないというのがありまして、今、交渉中でございます。そういった状況でございます。

それと、管理費5,000円ほど上がっていますが、これは1年間分の電気代ということで、水道を含めた管理料ということでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 藤井議員。

○議員（2番 藤井 克孝君） 自分は前回、もう中津分校のその民芸品等は全部もう処分されるというふうにちょっと認識してたんですけど、まだなら残っているという段階ですね。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） はい。3月議会のときにそういったことで申し上げせてもらいましたが、現在のところ、そうした事業、手続を進めさせてもらって、あと数名の確認を今しておるところということでおります。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 藤井議員。

○議員（2番 藤井 克孝君） ならそれは、いつまでになら全部処分されるのか、再度確認で終わって……。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 今、そういったことで手続を進めておりますので、早いうちに完了させていただきたいと思っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） そのほかございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

その他、全般について、質疑ありませんか。

福田議員。

- 議員（４番 福田 茂樹君） １０４ページの三朝町地域活力創出推進基金積立金、これどこから出てきたものなのか、さらにどういう目的だったのか、再度お聞きしたいと思います。
- 議長（牧田 武文君） 大村財務課長。
- 財務課長（大村 哲也君） この創出基金でございますが、これは地方交付税の中の算定に昨年、新たに入りましたもので、雇用等の充実に活用するという意味合いで交付税に算定されたもので、昨年の３月の補正予算で計上させていただいたものでございます。
- 議長（牧田 武文君） 福田議員。
- 議員（４番 福田 茂樹君） 積み立てるだけじゃないですよ、これは。雇用対策等で使うお金なんですよ、使ってないですよ、全然。
- 議長（牧田 武文君） 大村財務課長。
- 財務課長（大村 哲也君） 今年度の予算ではまだ取り崩しの予算は確かに計上しておりません。議員のおっしゃるとおりに、これはあくまでも活用されて実のある基金だと思いますので、十分協議しながら今年度に対して生かさせていただきたいと思っております。以上です。
- 議長（牧田 武文君） 福田議員。
- 議員（４番 福田 茂樹君） ぜひ努力をお願いします。
- 議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

- 議長（牧田 武文君） よろしいですか。そういたしますと、質疑を終結し、進行いたしたいと思います。

以上で議案第７２号、平成２１年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定に対する質疑を終結いたします。

しばらく休憩いたします。１１時に再開いたします。

午前１０時４４分休憩

午前１１時００分再開

- 議長（牧田 武文君） 再開いたします。
- 先ほど吉田議員の方から質問がございました、平井参事に、訂正がございますので、平井参事、よろしく願いいたします。
- 総務課参事（平井 文彦君） 失礼します。そうしますと、先ほど吉田議員の方から質問があり

ましたことについてお答えいたします。退職消防団員報償金の掛金はどこに支払うかという質問でございましたけども、財団法人全国消防団員等公務災害補償等共済基金というところにお支払いしております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 吉田議員。

○議員（3番 吉田 文夫君） そのこのところを聞こうと思ったんですが、そういう詰めがちょっと、執行部からの回答のちょっと疑問があったんですが、のみ込みしたんですが、わかりました。以上で終わります。

○議長（牧田 武文君） 答弁はいいですね。

○議員（3番 吉田 文夫君） いいです。

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、議案第73号、平成21年度三朝町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第74号、平成21年度三朝町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第75号、平成21年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第76号、平成21年度三朝町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第77号、平成21年度三朝町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第78号、平成21年度三朝町温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑

ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第79号、平成21年度三朝町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑ありませんか。

杉原議員。

○議員（11番 杉原 憲靖君） この下水道会計の件でございますが、使用料の滞納分120万、これが決算で上がっておりますが、この内容の具体的な説明。それとあわせて、下水道の接続率が現状ではどういうところの線のところまで接続が進んでいるのか、この点についてお伺いいたします。

○議長（牧田 武文君） 岩山建設水道課長。

○建設水道課長（岩山 靖尚君） 下水道使用料の滞納分について御説明いたします。滞納使用料につきましては、各個人の方、また旅館等を営業されておる部分も含まれますが、全般的に景気の部分というのを影響いたしまして滞納をされておるわけですが、現在、各個人にあてて滞納の書類等を回しまして、家に回らせてもらってその処理を行っているところでございます。

下水道接続率につきましては、今、21年度末で接続戸数、1,904全体のある中の1,663接続しております。率については87.3%ということになっております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 杉原議員。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 滞納の未収のあれが120万あるということ、これは下水に限らず上水にしても何か月か、3カ月でしたかね、そういった滞納した者についてはとめるなり、そういったきちとした体制というのは、これは上水も下水も私、一緒だろうと思いますが、その辺の取り組みはしっかりなさっているのかどうか、よろしく願います。

○議長（牧田 武文君） 岩山建設水道課長。

○建設水道課長（岩山 靖尚君） 現在9月、盆が明けてからなんですけども、個人さんとお話をして悪質なものについては、連絡がとれないとか電話等でも話ができませんという部分については水道の部分をとめさせてもらったりという手続をとって、一応滞納処理に向かっております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第80号、平成21年度三朝町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について、
質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第81号、平成21年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について、
質疑ありませんか。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） マイナスの決算となっております、1,000万近くの。ちょっと詳しく御説明をいただければと思いますが。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） 収入の方が21年度貸し付けが3件ございまして、それが墓地貸し付け収入で117万円でございます。歳出が前年度の繰り上げ充用金が1,191万1,454円でしたので、マイナスになりますので、翌年度の充用金、翌年度から繰り上げて1,074万1,454円を繰り上げて、違います、済みません。1,191万1,454円を、ごめんなさい。申しわけありません、ちょっと説明ができません。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○町民課長（山根 智美君） 財務課長をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 財務課長の方で、ほんなら。

○財務課長（大村 哲也君） 失礼します。今年度の収入の117万円は、先ほど町民課長が言いましたように区画の貸付料収入、それから赤字、諸支出金の繰り上げ充用金といいますのは、墓地を造成したときの工事代金の部分がずっと赤字として繰り返し計上させていただくもんでございます。ですから、これが全区画が貸し付けということで完了したときには、この赤字がなくなると、こういうような会計の仕組みなっているところでございます。よろしく願いいたします。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（1番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。質疑を終結し、進行いたします。

次に、議案第 8 2 号、平成 2 1 年度三朝町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、議案第 8 3 号、平成 2 1 年度三朝町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について、質疑はありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 4 号、平成 2 1 年度三朝町水道事業決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 5 号、平成 2 1 年度三朝町国民宿舎事業決算の認定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 6 号、三朝町文化財保護条例の一部改正について、質疑ありませんか。

横木議員。

○議員（8 番 横木 文雄君） 町の指定の文化財が現状どのように指定されているのか、県の指定も含めて一覧表でも配付していただきたいと思います。

それから、指定の文化財が現在どういう状況で管理されているのか、その確認のほどを教えてください。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 寛君） 一覧表につきましては、後ほどお配りしたいと思います。

それから、文化財の管理の状況ということではございますけれども、なかなか目配りができてない部分もあるかもしれないというところはありますけれども、その都度、その状況に応じたということで管理はさせてもらっておるという認識にはしております。例えば修繕とか、そういったものが発生してくれば、その時点で検討しながらそういったことでの管理を進めていきたいと考えてはおるところでございます。簡単ではございますけれども、以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

議案第 8 7 号、三朝町過疎地域自立促進計画について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 8 号、工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（東小学校校舎耐震補強改修工事）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 9 号、工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（西小学校校舎耐震補強改修工事）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております 2 3 件の議案のうち、議案第 7 2 号、平成 2 1 年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、5 人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思いを。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議案第 7 2 号、平成 2 1 年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定については、5 人の委員をもって構成する一般会計決算審査特別委員会を設置し、これに付託、審査をすることと決定いたしました。

お諮りいたします。特別委員の選任は、議長において指名したいと思いを。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名をすることに決定いたしました。

指名いたします。総務教育常任委員会から清水成真議員、杉原憲靖議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、横木文雄議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上 5 名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました 5 名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、総務常任委員会から清水成真議員、杉原憲靖議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、横木文雄議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上5名の諸君が特別委員に選任されました。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の22件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議案第72号、平成21年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定についてを除く22件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託いたします。

なお、議案第72号、平成21年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定につきましても、それぞれ所管事項の審査を各常任委員会をお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれにて散会いたしたいと思っております。

午前11時25分散会
